

# WEEKLY

Rotary



IMAGINE  
ROTARY

The Rotary Club of Ichinomiya

●例会日 木曜日 ●例会場 一宮商工会議所 ●承認日 昭和24年12月31日  
●事務局 一宮市栄4-6-8 一宮商工会議所ビル5階 電話(0586)24・1931 \* 491-0858

未来を描こう、笑顔でつなごう

URL:<http://rc138.org> E-Mail:[rc138@lily.ocn.ne.jp](mailto:rc138@lily.ocn.ne.jp)

2022年10月27日  
第3525回例会

## プログラム

### 卓話

水島 邦雄氏  
(NPO元気ふれあい俱楽部)  
テーマ「子ども食堂の日」

ロータリーソング 「四つのテスト」

第3524回例会の記録  
2022年10月20日(木)

### 会長挨拶

関戸 徹  
今日は、先日お亡くなりになった「アントニオ猪木」さんについてお話ししようと思います。

アントニオ猪木、本名猪木寛至、1943年(昭和18年)の生まれです。皆さんご存じのように、著名なプロレスラーであり、スポーツ平和党を作り、参議院議員を2期務めています。結婚は、4回しており2度目の奥さんは、倍賞美津子さんです。

皆さんにお聞かせしたのは、「猪木ボンバーアイ」という登場テーマソングです。キャッチフレーズは、皆さんご存じの「燃える闘魂」です。

力道山の付き人を3年半務めプロレスラーとしてのデビューは、1960年(昭和35年)大木金太郎に逆腕固めで負けているそうです。なんと弱冠17歳です。

その後、カールゴッチのコーチを受けたりしながら、ジャイアント馬場の日本プロレスを脱退後、新日本プロレスを立ち上げ、ストロング小林との日本人対決、またタイガー・ジェットシンスタンハンセン、ハルクホーガンなどは、猪木によって世界的に有名になったレスラーといつてもよいでしょう。またリングサイドアナウンサー徳光和夫や古館伊知郎を有名にしたのもアントニオ猪木です。彼は、1998年(平成10年)引退試合でドンフライというレスラーと対戦、グランドコブラツイストで勝利して引退しました。なんと38年間も、第一線級のプロレスラーであったわけです。

政治家としてのアントニオ猪木は、1990年湾岸戦争で、外務省が難色を示す中、「平和の祭典」というイベントをバクダードで実行し、イラクから41人の日本人の人質を解放させています。これはすごいですね。

### 次回の予定

- 11/3 休会 文化の日
- 11/10 インターアクト活動報告  
大成中学・高等学校インタークトクラブ

# 一宮

題字 PG 安野譲次



重文 「陵王」面 真清田神社蔵

会長 関戸 徹  
副会長 青山 佳裕  
幹事 吉田 真人  
会長エレクト 足立 隆二  
副幹事 富熊 田  
会報委員長 熊田 慎二

さて、アントニオ猪木のもう一つの顔は、「1, 2, 3、ダー」や「元氣があれば何でもできる」のキャッチフレーズでしょう。それでは、ここでアントニオ猪木さんの追悼のために皆さんでのフレーズを呼びましょう。「1, 2, 3、ダー」

### ロータリーの友10月号紹介

近藤尚文

・横組み表紙をご覧ください。表紙は障害者アート足利さんの「こここのコーヒーミルくん」でぐるぐるぐるぐる回します。いやなことを削ります。こわい夢を削ります。」というアート作品になります。

・横組み7頁から13頁までは「米山記念奨学事業」が紹介されています。8頁から10頁、元米山奨学生マリ出身のウスピさんの多様性への提言という記事があります。ウスピさんは京都精華大学の学長にまでなっている方で日本社会と日本人が異文化や外国人を受け入れているかといえば、はなはだ疑問に感じます。日本人独特の性質で「空気を読む」と言いますが、空気に逃げている人ばかりのように感じられ、グローバル化が進む中で、非常に危険なことだと思っています。日本が多様化していくに当り、外国人が持つ固有の文化、姿勢を重んじながら、全員で日本社会を形成していくことが、何よりも大切であるとの思いです。

・縦組み21頁一宮北ロータリークラブの記事があります。できることからやってみようのチャレンジ精神で国際芸術祭「あいち2022」への参画。完成した作品は全長7m高さ3mで尾張一宮駅に展示されました。前向きな世界観を表現したカラフルな作品は、センスあふれるものばかり。駅でロータリーのPRもできましたし、写真は子供と母親の製作している様子が伝わってくる良い写真だと思います。

### 委員会報告

#### ニコボックス

安藤滋朗

☆ 鎌田芳彰君

一昨日の一宮商工会議所ゴルフ会においてゴルフ組で優勝しました。梯さんははじめメンバーに恵まれ楽しくゴルフができました。有難うございました。

☆ 長谷川勝久君

10月3日に遅ればせながら初孫が生まれました。先週末に岡山まで孫の顔を見に行きました。

爺ばかの始まりですね。

☆ 江崎正和君

先日第2回IRG会ゴルフコンペ(西尾張分区ゴルフ協議会)を開催できたよろこびで。

☆ 安藤和人君

本日イニシエーションスピーチのトップバッターフォームです。宜しくお願ひします。

☆ 伊藤彰彦君

本日はイニシエーションスピーチをさせて頂く喜びで。

☆ 関戸 徹君 吉田真人君  
本日、安藤和人さんと伊藤彰彦さんからイニシエーションスピーチを頂く喜びで。

### 出席報告

現在の会員数	110名
本日の出席数	60名
前々回の出席率	100%

\* \* \* \* \* プログラム \* \* \* \* \*

イニシエーションスピーチ

安藤和人君

テーマ「自己紹介」



歴史と伝統ある一宮ロータリークラブにて、このような自己紹介の機会をいただき感謝申し上げます。

住まいは愛知県みよし市に子供たちは巣立ちましたので妻と二人で暮らしております。勤務先は名鉄西部交通と申しまして名鉄タクシーの尾張地区を担当しております。

名鉄に入社以来、札幌・高山・金沢と赴任し、身体は寒冷地仕様に、また美味しいものを摂取しすぎた体型仕様となりました。更には、本社事務職、鉄道事業、バス事業、タクシー事業更には病院経営とタクシー業界同様に転職仕様もあります。ロータリアン歴は金沢RCに5年入会しておりました。

さて今年で日本のタクシーが110周年を迎えたので簡単にタクシーなるもののお話をさせていただきます。まず「タクシーの始まり」ですが、16世紀にフランスのパリで馬車が、17世紀イギリスでは1頭2輪車「ハンサムキャブ」が出現し、乗車時に行き先を告げ降車時に支払うという現在の形ができました。次に「タクシー名称」の由来ですが、メーターが出現して「タクシーメーターキャブリオレット」といわれ、略称「タクシーキャブ」に、更に「タクシー」となりました。

日本タクシーのルーツですが、代表されるのは「駕籠」次に明治維新に「人力車」に代わりました。維新前の東京では駕籠1万台が維新後人力車4万台と激変しました。

明治45年(1912年)有楽町にて自動車型タクシーがT型フォード6台でスタート、運賃は盛り蕎麦3銭に対し、初乗りワンマイル 1600m 60銭、以降半マイルごとに10銭と、高額で庶民の乗り物でなかつたことが分かります。

さて愛知では名古屋タクシー自動車が大正12年(1923年)に設立されました。これは関東大震災で交通手段として自動車が有効だと評判から、フォード等が日本で生産し、自動車型タクシーが全国に普及したことが大きな誘因となっています。

この様にタクシーは歴史や地震という時代を振り動かす事象で変化してきました。

「コロナ後」ではタクシーニーズがどう変化していくのか考えさせられています。

最後に、今後とも皆様のご指導のほどよろしくお願い申し上げます。

伊藤彰彦君

テーマ「自己紹介」



(株)アイ・シー・シーの伊藤です。歴史と伝統のある一宮ロータリークラブに入会させていただき半年が経過しました。本日はイニシエーションスピーチの機会をいただきありがとうございます。

私は昭和38年、名古屋市東区で生まれ育ちました。同志社大学を経て昭和61年に豊島株に入社、人事で3年、その後は営業で31年、繊維原料・糸・生地の販売を担当しました。2年前の令和2年より(株)アイ・シー・シーに勤務しております。

両親は名古屋で祖父が始めた木材加工業を営んでおりました。また母方の祖父は現在の一宮市玉野出身で、戦前ミシン糸の卸売を始め、戦後は名古屋・錦3に移転して撚糸機や小型染色機等を設置し、紳士服・かばん用の縫い糸の撚糸・染色加工を昭和40年代まで営んでおりました。あらためて一宮や繊維業界とのご縁を感じております。

社会に出て繊維営業31年間のうち22年間は、英国で開発された繊維の販売を担当しました。繊維営業における商品開発・プロモーションの学びとしては、自分自身が着用してモニターになること、商談・出張・プライベートで着用し歩く広告塔になることです。特に広告塔としての思い出は、開発パートナーの皆様にウェディングドレスやタキシードを製作していただき、自分の結婚式で披露したことです。

繊維営業最後の6年間は、一宮・尾州地区でウールの糸・原料の販売を担当しました。羊毛相場・為替の動きに一喜一憂する日々でしたが、地元の皆様に大変お世話になりました。

(株)アイ・シー・シーは、平成5年に放送を開始し今年は29年目になります。近況として、放送事業・通信事業以外に、企業様向け映像制作や催し物の企画運営にも注力しております。今年の7月よりニュース番組を平日17時からの生放送に切替え、当日撮影した内容を中心に改めました。さらにICC公式アプリの運用を7月より開始し、料金照会・手続き変更等の基本機能や、番組の見逃し配信、一宮駅付近や木曽川などのライブカメラ機能を利用できます。

今後も、利用者の皆様、市民の皆様にご満足いただけるよう取り組んでまいりますのでよろしくお願い致します。